



http://www.shinshiyou.com

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F
TEL. 045(440)3210 FAX.045(440)3209

発行元/公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会

発行人/会長 木元 茂

編集人/神私幼総務部(広報室)

発行/年3回

発行部数/1800部



INDEX

2・3 研修事業部・研究部活動報告
寄稿 **遊びは学び**～探究する子どもの姿を小学校につなげよう～
東海大学児童教育学部児童教育学科准教授 寶來 生志子 先生
研修会報告

4 会長・副会長のご紹介
学校法人横浜アイリス学園 白幡幼稚園/学校法人浅谷学園 中野島幼稚園

5 令和5年 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 研修大会
子育て中でもキレイを保つ
さわやかパパ・かわいいママでいるために
ビューティ・ライフスタイルデザイナー/MICHIKO. LIFEプロデューサー/信州大学特任教授 藤原 美智子 氏

6・7 第36回 関東地区教員研修群馬大会
第37回 関東地区代表者協議会 千葉大会
第38回 設置者・園長全国研修大会
法律相談/教育相談

8 ケンタガーデン®/Pride of KANAGAWA

令和5年度 神奈川県連合会加盟園数・園児数

協会名	園数	園児数	前年度園児数	前年度比
公益社団法人横浜市幼稚園協会	247	35,315	37,849	- 2,534
公益社団法人川崎市幼稚園協会	83	14,011	15,753	- 1,742
横須賀市私立幼稚園・認定こども園協会	30	3,314	3,520	- 206
特定非営利活動法人藤沢市私立幼稚園協会	29	4,685	5,017	- 332
鎌倉私立幼稚園協会	19	2,249	2,388	- 139
茅ヶ崎市私立幼稚園協会	14	2,427	2,531	- 104
湖中央地区私立幼稚園協会	39	5,527	5,795	- 268
小田原私立幼稚園協会	12	1,171	1,195	- 24
相和私立幼稚園協会	27	4,098	4,233	- 135
一般社団法人相模原市幼稚園・認定こども園協会	45	6,713	7,061	- 348
逗葉私立幼稚園協会	6	565	605	- 40
厚木地区私立幼稚園協会	19	2,482	2,651	- 169
計	570	82,557	88,598	- 6,041

県連設立 1948年(昭和23年)

研修事業部・研究部活動報告

寄稿



寶來 生志子 ほうらい きしこ

遊びは学び

探究する子どもの姿を小学校につなげよう

令和5年2月、中央教育審議会において「学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について」幼児小の協働による架け橋期の教育の充実」が取りまとめられました。

今更以上、幼児小が意識的に協働して子どもの発達や学びをつなぐことが求められています。

では、園は小学校に何をつなげればよいのでしょうか。

この3月まで、小学校の校長をしていた者として、つなげたいことをいくつかお話ししたいと思います。

「子どもを一人の人間として尊重する」という理念をつなげよう

今は、大学で学生を教えています。教えるといっても、私が教え込むのではなく、学生たちが今までの自分の経験を生かして、仲間と協働しながら自分で考え、自分で行動できるような授業を目指しています。学生たちの伴走者になりたいの

プロフィール

東海大学児童教育学部児童教育学科准教授。横浜市の公立小学校勤務の後、同市こども青少年局担当課長として幼児小連携や「スタートカリキュラム」推進を担い、横浜市立池上小学校校長、横浜市立恩田小学校校長を経て、2023年より現職。「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説生活編」作成協力者。文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会「幼児教育と小学校教育の架け橋 特別委員会」内「幼児小接続期の教育の質保障の方策に関するワーキンググループ」及び「幼児小の接続期の教育の質的向上に関する検討チーム」委員。

です。「この人に伴走してもらいたい」と思ってもらえるような大人になりたいと思っています。この願いは、小学校から大学に異動しても変わりません。それには、まず、目の前の子どもや学生を一人の人間として尊重することが大切だと考えます。

「子どもは有能な学び手である」という子ども観をつなげよう

子どもにとって安心することはなんでもしよう。それは、まわりの大人の笑顔。そして、共感のまなざしです。子どもは、安心しなければ自己を発揮できません。『学びに向かう力』を引き出すことにつながります。それには、まず私たちまわりの大人が広い心、ゆったりとした心で子ども

たちと接することが大切です。「子どもは、学ぶ意欲と学ぶ力をもった有能な学び手である」と言われています。そのような肯定的な子ども観、共感のまなざし、そして、笑顔で子どもたちに接していきたいですね。つまり、「どれだけ子どもの立場に立てるか」ということだと思っています。

遊びの中でつかむ「手応え感覚」をつなげよう

「学びに向かう力」を育むためには、「手応え感覚」が大切だと國學院大学の田村学先生は、おっしゃっています。心理学では、ポジティブ感情と呼ばれています。価値ある体験を通して、気付きや4つの「手応え感覚」が生まれます。

- ①充実感 「すがすがしい」「気持ちいい」などの言葉にならない満たされた感覚、
②達成感 「なるほど」「わかった」「できた」「できそうだ」などを支える感覚
③自己有能感 「少しは成長したかな」「前よりもうまくなったぞ」などと自己の成長を実感する感覚
④一体感 「一緒によかった」「みんながいたから」「みんなで作ると楽しい」などの協同的に学ぶ価値を実感する感覚

この「手応え感覚」が、次への行動の意欲になります。それをくるくるくるく

Table with 6 columns: 開催日, 研修名, 会場, 講師, テーマ, 参加者数. Contains details for various seminars and workshops.



月、再度園を訪れました。その日の子どもの姿を少し紹介します。運動会が近くなり、年長さんは、年中さんと一緒にいろいろな道具を使って遊んでいます。Aさんは、「お化けトンネル」を作っています。

赤と青のトンネル同士をしつかり留めて、ピンとはった状態にしたいと考えました。「紐をピンとしたい」というAさんの思いに寄り添い、担任はAさんが必要としている緑の箱はないか他の場所を探しに行きました。伴走者に徹する保育者を見て、子どもを一人の人間として尊重していると感じました。担任は、「夢中になる」をキーワードにして子どもに接していると言っていました。これまでは、一人で活動している子どもを見ると、なんとか友達との関わりを促そうと働きかけていたそうです。しかし、まずは、一人で黙々と取り組む姿こそ大事にしたいと考えようになったといっています。協同ありきではなく、本人が満足して、それを周りが共有して、共に取り組んでいくというプロセスを大切にしたいという考えに変わったとのことでした。

それは、スタートカリキュラムで大切にしている「子どもを一人の人間として尊重する」という考えに触れたからだと、言います。また、自ら考えてやってみて、感じたり気付いたりして、また、考えてやってみてという問題解決を繰り返すことが学びであり、それは、小学校も同じだということが分かり、その問題解決を繰り返す際に大切なことは、環境構成と言葉かけだと言っていました。その気になるような素材を提示したり、言葉かけをしたりして、子どもがのめり込んでいくタイミングを見逃さないようにしているとも言っていました。この環境構成、言葉かけに関しては、小学校の教師も大切にしたい視点として挙げていることが多いものです。「子どもを一人の人間として尊重する」という子ども理解、環境構成と言葉かけが子どもたちの探究を支える重要なポイントなのではないでしょうか。 「子どもが考え、決めて、行動できる「遊びは学び」をつなげよう」 これからも、保育者との信頼関係に支えられた安心できる環境の中で、子ども自身が考えて、決めて、行動できる遊びを大切にしていきたいです。 小学校では、主体的に行動したり発言したりできる子どもが一人でもいると、それがクラスの子どもたちにも広がっていきます。 「遊びは学び」を体験した子どもたちが、園と小学校をつなげてくれるのです。

る何度も経験することで安定して、態度化されます。そして、少々大変なことがあっても乗り越えていこうというような「学びに向かう力」になるといえるものです。 今回の学習指導要領の改訂で、幼稚園から高等学校まで3つの資質・能力の育成が統一され、その一つに「学びに向かう力」が位置付けられました。「学びに向かう力」は、非認知能力や社会情動的スキルとも呼ばれています。数値では測りにくいですが、これから豊かに生きていく上で欠かせない資質・能力の一つと言われています。 園や学校では、どんな時も「やってみようよ」「わたしたちだったらきつとできるよ」と前向きにチャレンジしようとする子どもがいます。きつと家庭や地域、園や学校で価値ある体験をしていて、「手応え感覚」をたくさん味わっているのだろうと思います。 反対に、「どうせやってもできないよ」「無理だよ」というように後ろ向きな発言をする子どももいます。「手応え感覚」はマイナスイメージも態度化されてしまいうそうなのです。子どもたちがいかに価値ある体験ができるか。私たちまわりの大人の働きかけや環境構成が大切になりますね。 6月、ある園でスタートカリキュラムの考え方を中核にした架け橋期の研修会を行いました。それから3カ月たった9月、ある園でスタートカリキュラムで大切にしている「子どもを一人の人間として尊重する」という考えに触れたからだと、言います。また、自ら考えてやってみて、感じたり気付いたりして、また、考えてやってみてという問題解決を繰り返すことが学びであり、それは、小学校も同じだということが分かり、その問題解決を繰り返す際に大切なことは、環境構成と言葉かけだと言っていました。その気になるような素材を提示したり、言葉かけをしたりして、子どもがのめり込んでいくタイミングを見逃さないようにしているとも言っていました。この環境構成、言葉かけに関しては、小学校の教師も大切にしたい視点として挙げていることが多いものです。「子どもを一人の人間として尊重する」という子ども理解、環境構成と言葉かけが子どもたちの探究を支える重要なポイントなのではないでしょうか。 「子どもが考え、決めて、行動できる「遊びは学び」をつなげよう」 これからも、保育者との信頼関係に支えられた安心できる環境の中で、子ども自身が考えて、決めて、行動できる遊びを大切にしていきたいです。 小学校では、主体的に行動したり発言したりできる子どもが一人でもいると、それがクラスの子どもたちにも広がっていきます。 「遊びは学び」を体験した子どもたちが、園と小学校をつなげてくれるのです。

令和5年 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 研修大会

子育て中でもキレイを保つ
さわやかパパ・かわいいママでいるために



ビューティ・ライフスタイルデザイナー
MICHIKO. LIFEプロデューサー
信州大学特任教授 **藤原 美智子 氏**
MICHIKO FUJIWARA

令和5年11月14日(火) 神奈川県立音楽堂 ●受付/9時30分～ ●開会式/10時00分～10時40分 ●講演/10時40分～12時00分



街路樹もすっかり葉を落とし、すぐ近くに冬の訪れを感じる季節となりました。今年度も昨年同様に対面で開催すると共に、YouTubeによるアーカイブ配信も実施しました。

当日は心地よい秋晴れとなり、会場となった県立音楽堂には県内全域から多くの皆様にお集まりいただきました。

開会式では、父母の会連合会・矢澤孝雄副会長より開会の言葉があり、続いて父母の会連合会・寺尾康子会長、神奈川県私立幼稚園連合会・木元茂会長より挨拶がありました。また、ご来賓の方々を代表して、神奈川県知事代理副知事・首藤健治様、神奈川県県議会議長・加藤元弥様、神奈川県私立学校審議会会長・松田良昭様の3名の方に子どもたちの明るい未来に向けたお話を頂きました。私たちの子育てには、多くのご支援とご協力があって成り立っている事を改めて感じました。そして、未来を担う子ども達が心身ともに健やかに成長することを願う宣言をもって開会式が終了しました。

その後の講演会では、ビューティ・ライフスタイルデザイナー、MICHIKO. LIFEプロデューサー、信州大学特任教授としてご活躍されている藤原美智子先生にお話を頂きました。昨年までヘアメイクアップアーティストとして42年間、美に携わって来られた経験と、現在のビューティ・ライフスタイルデザイナーとして、生き生きとした人生を送るためのアドバイスを4つの項目に分けてお話を頂きました。

1. メイクアップ(目を縦に開く)

生き生きと、可愛らしい表情となる様に目を縦に開いて瞳を大きく見せる事が大切です。メイクは、1ミリ単位で印象が変わる事を学びました。

2. ボディメイク(首と鼠蹊部)

近年、いわゆる「スマホ首」と言われるスマートフォンの常用による首や、肩等に不具合が起こる症状から姿勢が悪くなる方が増加しています。血流が悪くなると顔や体にも影響が出る為、多忙な日々の中でも美しい姿勢を心掛け、自分自身の心も体も磨く事が大切だと学びました。また、ストレッチバンドを使用した簡単エクササイズも教えて頂きました。

3. インナービューティ(熱い・冷たい)

日常の隙間時間を利用して、自分を鍛える例として挙げられたのは「水シャワー」でした。お風呂上りに、足や手、頭皮に水シャワーを浴びると肌が引き締まり、肌色も良くなるそうです。

4. マインドビューティ(合言葉・紙10枚)

藤原先生は今まで多くの美に携わって来られました。たとえば骨格や、スタイルが良くて心にも「鬱積」があるとオーラは見えません。心身のバランスを整える事で大きなオーラが生まれます。また、近年は自己肯定感の低い方が増加傾向です。要因の一つにSNSがあり、投稿を見ては自分と比較し、羨む事が多くなりがちです。今こそ考え方を改めて、自分らしさを追求する事、SNSは情報を得る参考書であり、決して羨む事をしないよう心掛けてほしいとお話されました。

時には「怒りの感情」が芽生えることもあります。解決方法の一つとして挙げられたのは、紙10枚に今感じている思いを全て書き出す方法です。書いているうちに、徐々に心も体もすっきりして、光指し示す方へ再び歩き出す事が出来ると力強くお話しされました。

藤原先生は講演の最後に、さわやかなパパ・かわいいママでいるためには、まずは「自分らしさを見つける事」が大切だとお話しされました。人々の意見に左右されない自分。ママだって一人の女性。自分の好きを追求して揺るがない「基軸」を持つ事の重要性を学ぶと同時に、藤原先生のお言葉一つひとつに大変共感を持ちました。講演会では、挙手をした会員の方が舞台上に上がり先生と楽しくトークを行う場面や、質疑応答にて沢山のアドバイスを頂く事ができました。

今回、このような貴重なお話を伺う機会に恵まれました事に感謝すると共に、今後の子どもたちと過ごす時間にお役に立ていただければ幸いです。



(文責 父母の会連合会委員 加藤文恵)

会長・副会長に聞きました

前号から新企画「会長・副会長に聞きました」の連載が始まりました。連合会の会長と5人の副会長に、園の事、趣味の事、ご自身のお話しなどをお聞きします。第2回となる今回は木元茂会長と浅谷学副会長です。

学校法人横浜アイリス学園 白幡幼稚園

〒221-0075 横浜市神奈川区白幡上町17-26
TEL. 045-421-3654 FAX. 045-439-6889

<https://iris.ed.jp/shirahata/>



会長 木元 茂



私は北海道旭川市の出身で、縁あって横浜市の幼稚園の経営にたずさわり、そして多くの方の導きで現在も関わらず優しく接していただき、こんなにも楽しい人生を過ごすことができ、本当に幸せだと感じています。開園の地としての懐の深さが「神奈川」県民の心の底にあるのでしょうか。さて、幼児教育・保育業界も園児減少、人手不足という課題はありますが、園児が減少しても経営が成り立つように基準を変えればいいだけの事です。これまでの基準が旧態依然と言えます。ここを変えることが、次の県連の大きな仕事になるのは間違いないと思います。県内の570園の先生方と力をあわせて前進していきたいと心より願っています。

令和4・5年度の神奈川県私立幼稚園連合会会長の木元茂です。横浜市神奈川区白幡の白幡幼稚園の理事長です。永らく横浜市幼稚園協会や神奈川県連合会で役員をさせていただき、大変多くの方々と知り合う機会をいただきました。幼児教育の制度が大きく変わる場面にも遭遇しましたが、幼稚園の先生方、行政・議会の皆さんにもご指導ご協力をいただき、なんとか乗り越えることができました。

私も北海道旭川市の出身で、縁あって横浜市の幼稚園の経営にたずさわり、そして多くの方の導きで現在も関わらず優しく接していただき、こんなにも楽しい人生を過ごすことができ、本当に幸せだと感じています。開園の地としての懐の深さが「神奈川」県民の心の底にあるのでしょうか。さて、幼児教育・保育業界も園児減少、人手不足という課題はありますが、園児が減少しても経営が成り立つように基準を変えればいいだけの事です。これまでの基準が旧態依然と言えます。ここを変えることが、次の県連の大きな仕事になるのは間違いないと思います。県内の570園の先生方と力をあわせて前進していきたいと心より願っています。



「神奈川大好き！」

学校法人浅谷学園 中野島幼稚園

〒214-0012 川崎市多摩区中野島3丁目19-2
TEL 044-911-5456 FAX 044-911-2240

<https://www.nakanoshimayouchien.com/>



副会長 浅谷 学



鎌倉時代の城跡とされる枳形山には大型遊具があり、散策と組み合わせることで、その効果はより大きくなります。園内の施設も充実しており、多摩区出身のプラネタリウムクリエイター・大平貴之さんによるプラネタリウムが目玉のかわさき宙(そら)と緑の科学館をはじめ、地元や川崎に縁が深い藤子・F・不二雄ミュージアムや岡本太郎美術館、このほか日本民間園などが点在しています。令和6年は川崎市の市制100周年にあたり、全国都市緑化かわさきフェアも開催されます。生田緑地はコア会場の1つですので、皆様のお越しをお待ちしております。

川崎地区からの副会長を拝命しております浅谷学です。川崎地区は(公社)川崎市幼稚園協会のみで構成され、自園は市内7行政区のうち、北部地域に位置する多摩区にあります。川崎や横浜よりも新宿に近く、区内を小田急線が通っているため、ようちえん会館よりも早くアルカディア市ヶ谷に行けるという地域です。先日、川崎協会の園長研修会の中で、遠足について情報交換する機会がありました。高騰する貸切バス料金の影響もあり、各園とも行き先や移動手段に頭を悩まされているようでした。私の地元・多摩区には、北部地域を代表する遠足の行き先の一つ、生田緑地があります。多摩丘陵の雑木林と谷戸の湿地や湧水などが残っており、高低差が50m程度あることから、園内散策は子どもたちの高揚感を発散させるのに最適です。加えて、



お待ちしております

第36回 関東地区教員研修群馬大会

開催日 2023年8月9日・10日

【オープニングアトラクション】 東京農業大学第二高等学校吹奏楽部 EMERALD KNIGHTS
 【開会式】 ○ご挨拶 全日本私立幼稚園連合会
 (一財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構
 全日本私立幼稚園連合会関東地区会 理事長 安家 周一
 (一社) 群馬県私立幼稚園・認定こども園協会 会長 角谷 正雄
 高崎市市長 富岡 賢治 様 会長 権藤 俊澄
 ○祝 辞 群馬県知事 山本 一太 様
 幼児教育議員連盟会長・参議院議員 中曽根 弘文 様
 『のびやかに生きる』子どもがいきいきと自分らしく成長するために』
 講師 脳科学者 茂木 健一郎 氏

今年の関東地区研修大会は、2日間にわたって群馬県はGメッセ群馬の会場を中心に開催されました。初日はオープニングアトラクションとして東京農業大学第二高等学校吹奏楽部 EMERALD KNIGHTSによる、ディズニーのミュージカル映画でお馴染みの『魔法にかけられて』をオリジナルバージョンで圧巻の演奏と演技で会場を魅了し、開会式が閉じられました。

全日本私立幼稚園連合会・田中雅道会長の挨拶をはじめ、群馬県の山本一太知事からも祝辞をいただき、前回開催県の神奈川県に対して、神奈川県私立幼稚園連合会の池田清副会長が田中雅道会長より感謝状の贈呈を受けました。



基調講演では、脳科学者の茂木先生は、皆で同じ知識をどれだけ多く効率的に覚えられたか成績がつけられる時代は変化を迎え、これからはそれぞれの『個性』という限らない資

源を耕す旅に出ることが人類全体として豊かになっていくことが大切ということ、正に主体性のある教育保育の質の向上の重要性を感じました。



2日目は、8つの一般フォーラムと5つの特別フォーラムにそれぞれ分かれての研修会となり、神奈川県では一般フォーラム3教育・保育理論担当ということで、『子どもの「やりたい」ことが実現できる保育』をテーマとして、外部ゲストに玉川大学教育学部乳幼児発達学教授の若月芳浩先生、コーディネーターを湘南台幼稚園の高野智基先生、問題提起者を伊勢原八雲幼稚園副園長の林田伸吾先生、八幡橋幼稚園の谷口直子先生の4名により発表され、①保育を変革することで生じる子ども・保育者の変化、②子どもと作り上げる保育という2つの事例を取り上げ、子どもの「やりたい」ことが実現できる保育にとって重要なことは何かについて、参加者と考える実りの多い講

第38回 設置者・園長全国研修大会

開催日 2023年10月23日・24日

山形県山形市・メトロポリタン山形にて標記大会が開催されました。蔵王山の初冠雪と本大会開催が重なったとの報告が主催県の山形県私立幼稚園・認定こども園協会会長の千葉亮子先生からありました。ホスピタリティーあふれる山形イベントネーションを織り交ぜた挨拶に会場が温かく包まれました。

大会テーマは「すべての子どもの幼児教育の充実・発展を考える」です。副題は「社会状況の変化を乗り越える園を目指して」でした。3年に及ぶコロナ禍から次のステージを迎えた今、そして少子化の加速で激減する園児数の中で今後の幼児教育の振興と発展、そして教育研究はどうあるべきか等、様々な課題が浮き彫りになり深い学びの場となりました。出会いがあれば再会もあります。本大会は他県の先生方とのふれあい・交流を通じて、神奈川の幼児教育を見つめなおす視座を与えてくれる貴重な契機であることを今年も改めて痛感した次第です。



最初に田中雅道会長からのご挨拶があり、4歳から5歳の育ちの重要性についてお話を頂きました。ドリルだけを与えられ育った4歳児と豊富な遊びの中で様々な好奇心・やる気を育てた子どもがやがて成人した時に顕現

する育ちとその後伸びしろの差。学歴と収入差についてOECD諸国ではこのエビデンスに基づいて早くから幼児期の育ちの重要性を認識し公的投資が行われている。そして、日本はどうか。学びを深めるとはどういうことか。真の学びとは、子ども、教師(保育士)双方の学びの深化の上に成り立つ、とお話を頂きました。

記念講演では、「日本酒を世界の酒に山形を日本酒の聖地に 挑戦と変革」との演題で出羽桜酒造(株)社長・仲野益美氏に講演を頂きました。日本酒業界の老舗蔵元社長として先陣に立ち、日本酒への認知を深めるべく海外戦略に取り組む一方で低迷する消費の内需拡大にも奔走。「不易流行」「変わらないために変わる」を社是に奮闘する天童出身の社長の熱い思いの一つひとつが胸に刺さりました。そして氏の経営に対する思い、その言葉はそのまま幼児教育の園経営に関わる私たちへのメッセージに重なるものであると感じました。行政報告では、「幼児教育の現状と課題」をテーマに文部科学省・初等中等教育局・幼児教育課長・藤岡謙一氏からお話があり、「質の低い園が生

き残り、質の高い園が潰れる」ということは絶対避けなければならぬとの言葉が印象に残りました。踏み込んだ表現に幼児教育の重要性と危機感が行政の最前



座となりました。また、群馬県ならではの『尾瀬ヶ原で保育の心を磨く』『SUPPONブルーと四万温泉』など特別フォーラム教養

第37回 関東地区代表者協議会 千葉大会

開催日 2023年11月9日・10日

協議テーマ 子どもたちが新しい時代を幸せに生きるために
 今回の代表者協議会は千葉県幕張地区にて行われました。

1日目の研修Ⅰは文部科学省幼児教育課専門官の講演でした。少子化が進む中で質の高い幼児教育を提供するための施設づくり、幼保小接続についての考え方や内容の改善、教職員の働き方改革や処遇改善と人材確保に向けての取り組みの紹介などがありました。さらに「子ども誰でも通園制度」の創設についての説明がありました。この制度は子どもの健やかな育ちのためにという事業であるということ、そのモデル事業、来年度からの試行、検討内容、進捗状況の報告がありました。

研修Ⅱにおいては、各県私学行政担当者からの報告で、各種補助金について、県単独の補助金の有無、新制度園への移行状況、キャリアアップ研修、人材確保についての報告があり、県によつての違いがわかりました。

2日目の研修ⅢではOPARK実行委員会の活動から、「乳幼児教育、保育施設におけるリーダーシップの具体的あり方についての探求」のお話がありました。幼児教育の質を上げるために、園内のマネージメントやリーダーシッ



文化講座も人気があり、2日間を通してとても充実した教員研修会となりました。(文責 副会長 石井和則)



線に立つ氏の思いとして力強く伝わってきました。幼児教育に関する大規模横断調査事業が令和6年度予算に計上されています。さながら日本版ベリール就学前教育プロジェクトのスタートと言えましょう。日本の子どもの7人に1人は貧困状態であり、貧困率で言えば米国よりも高い、とのこと。AIが生み出す社会の変化に生き抜く次世代を育て、貧困の連鎖を断ち切ることが今の日本社会の

最大の課題である、との指摘がありました。2日目の分科会では①教育(園長が知っておくべき教育的課題②振興(私学法の改正、行政サイドで議論されていること)③経営(インボイス制度、電子帳簿保存、ネットセキュリティ、指導要録の電子保存④認定こども園(こども誰でも通園制度)を論点にそれぞれ分科会が行われました。(文責 副会長 池田 清)

法律相談 R&G横浜法律事務所
 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい4丁目4番2号
 横浜ブルーアベニュー2階
 TEL.045-671-9654
 県連窓口担当 西村 将樹 弁護士

労働時間の管理
 労働基準法上の労働時間は使用者の指揮命令下に置かれている時間といえるかが重要な判断基準となりますが、実際の判断においては労働者の本務以外の活動等については業務性、職務性の有無も考慮されており、要件としては「職務遂行と同視し得る状況の存在」及び「使用者の指揮命令や黙認など使用者の関与の存在」の2つから判断されることとなります。
 働いている保護者の場合には自分の仕事が終わった時間帯に幼稚園に対応を求めてくることも珍しくなく、一定の範囲で対応せざるを得ないことがあると思いますが、どこまで対応すべきかについて各幼稚園の実情に合わせて予め検討しておくことは、保護者対応の公平性を維持するだけでなく労働時間の管理面でも重要です。

教育相談 相談の申し込み
 電話・ホームページから事務局へ申し込みください。
 TEL.045-440-3210
 http://www.shinshiyou.com
 教育相談員 鈴木 敦子 先生 (臨床発達心理士)

何をしたらいいかわからない!
 特別支援研修で来ていただいている講師の上原芳枝先生からお聞きした話です。ある保育園に巡回指導で訪れた際、年長児が運動会の練習でダンスをしていました。ふと見るとテラスに寝そべっている男児がいます。先生が耳元で「誰がカッコいいかよく見て教えて」とささやくとその子はすぐにシャッキーンとし、熱心に見始めました。そしてついに入園以来初めて練習に参加したそうです。「カッコよく踊っている人を見つける役割」といった枠組みが本児にやるべきことを悟らせ、これなら自分の方がもっとかっこよく踊れると思ったのでしょうか。「見る」には実にたくさんの情報が含まれており、私たちは自動的に重要ポイントを絞っています。それが弱い子は見えても何をしたらいいかわかりません。道しるべが必要です。



©ビッグ錠

祝 Pride of KANAGAWA

令和5年度 神奈川県私立学校教育功労者表彰

令和5年11月13日に、神奈川県庁本庁舎「正庁」において令和5年度神奈川県私立学校教育功労者表彰の表彰式が行われました。心よりお祝い申し上げます。






学校法人吉野学園 理事長
すぎの森幼稚園 園長
吉野 浩司 先生



学校法人岩本学園 理事長
南大野幼稚園 園長
岩本 勉 先生



学校法人藤田学園 理事長
潮見台みどり幼稚園 園長
藤田 聡 先生

解説

神奈川県私立学校教育功労者表彰

私立学校教育の振興を図るため、知事所轄の私立学校の教職員、校長、園長、理事長及び設置者として、他の模範となる特に顕著な功績をあげた方に贈られます。



カラダ・アタマ・ココロ 3つのチカラを育む

- 園内での正課指導
- 課外教室運営

体育・サッカー・新体操・チア
剣道・キッズダンス・英会話

**デモレッスン実施中！
お気軽にお試しください**

株式会社ジャクパ
横浜支部・湘南支部
TEL：045-312-2831

委託給食
公立学校給食 / 保育園・幼稚園給食
病院・高齢者福祉施設給食 等

仕出し弁当
幼稚園・保育園弁当 / 公立学校スクールランチ
オフィス・工場弁当

飲料水 宅配

プロパンガス販売
給湯器設置・施工
キッチン・バスリフォーム
洗濯房 / 床暖房の設置・施工

Y-SDGs standard

「本質」でいるいるやる会社 /
株式会社 安田物産
YASUDA Co., Ltd

〒242-0018 神奈川県大和市深見西2-6-28
TEL 046-261-9700
HP <http://www.yasuda-bussan.co.jp>

令和5年度幼稚園教育経営研修会のご案内

今年度の幼稚園教育経営研修会は対面で開催いたします。講演はOPARK(大阪府幼児教育・保育資質向上システム) 実行委員の平林 祥氏・岡部 祐輝氏、日本公認会計士協会神奈川県会長の戸張 実氏を講師にお迎えして、これからの幼児教育・幼稚園のあり方について貴重なお話を伺う予定です。研修会後は意見交換会も予定しております、皆様のご参加をお待ちしております！

日	時	令和6年2月3日(土) 13:30~17:00予定 ★17:30~同会場意見交換会を予定しています。
会場	ロイヤルホールヨコハマ	
対象	加盟園 設置者・園長ならび後継者、またはこれに準ずる者	
募集人数	100名	
参加費	1名 10,000円(資料代、意見交換会参加費を含む) 詳細・お申込みは幼稚園ナビからお願いします。	
主催	一般財団法人神奈川県私立学校教育振興会	
実施	公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会	

通園バス乗降確認+点呼アプリ

りりーふたっぴ
びーこんうおっち



アプリとビーコンで園児を見守る

優秀賞受賞

BabyTech® Awards 2023



BABYTECH® AWARDS 2023
優秀賞

株式会社ワイイーシーソリューションズ ☎045-662-0881